

④② 身近な自然を楽しむ：桃とマグノリアの花(梅と桜の間に咲く花) Enjoy the surrounding nature: Peaches and magnolias blooming between plum and cherry blossoms.

吉野輝雄

梅は春の到来を告げる花として、桜は春のまっ直中にある事を感じ、共に喜ぶ花として多くの人に強い印象を残し、季節の変化を実感させてくれている。では、**梅や桜と花のかたちが似ている桃の花**はどうか？ 桃の節句（3月3日）に女の子の健やかな成長を祝う花として花桃が飾られていた。しかし、その伝統文化は、今は一部の所や商業目的で守られて来ているに過ぎない。それ故に桃の花への注目度は低いと決めつけるのは即断だと思うが、梅と桜の間に開花する桃の花への注目度は梅・桜よりも低いのは事実ではないか（先日、花好きの人との会話で意見が一致した）。

今号では、**ハナモモ(花桃)**とほぼ開花が同じ時期の**マグノリア**（コブシやモクレンなどの学名）を採り上げる。上記の意見と異なる見解、花の魅力、隠れた特徴などをご存知ならば聞かせていただきたい。

花桃：その花の多くは八重桜のような形状で、色は赤、ピンク、白色の種類が見られる。桜と似ているが、葉が細く、枝葉の広がり方が異なるので区別がつく。枝垂れ梅・桜と同様に**枝垂れ桃**が存在する。枝垂れ桃の中には、赤と白色の花が混在する（優位を争っているかのような）**“源平”種**があり、人の目を引く。また、花弁の先が裂けている**菊桃**は、桜にはない種類だ。

マグノリア(Magnolia) の多くも3～4月に開花する。外側が赤紫、中側が白色の厚みのある花弁が開き、飛び交う蝶のように見える**モクレン（木蓮）**。片全身が真っ白な**ハクレン（白蓮）**の花を青空に向かって一斉に開いている様に見えて実に優雅だ。**白色のコブシ（辛夷）**は木蓮よりも早く3月半ばに花が咲き、春の気配を伝える。しかし、少しでも風に当たると花弁が傷つき茶色になる。真っ白な細長い花弁を(10枚以上)放射状に広げている**シデコブシ（四手辛夷）**は清楚でとても美しい。私の好きな花の一つで、3月半ば蘆花恒春園の入口に立つ**シデコブシ**が咲きそろうた姿を見る度に心が洗われる。

今年、芦花公園内で目に入った花が**ミヤマガンショウ（深山含笑）**。大型のコブシの花に似ているが、オガタマノキの仲間サイズ、優雅さが際だっている。山奥で花の甘い香りに出会い、思わず笑みが出た事が名の由来のようだ。最後の花は**マグノリア・ジニー**。濃い赤紫の花が印象的で、木蓮と違って花弁は茶巾のように包まっていて開かない。開花期間が長く、2週間以上咲いている。